

2026年度 第1回企画環境委員会 議事録

日時 令和8年6月24日(水) 15時00分～17時00分

場所 よつば総合法律事務所

出席者

会長 東 正己 委員長 大森 滋

委員 萱野 一 (木更津支部)・飯高 徳秀 (茂原支部)・飯田 利治 (東葛支部)

秋山 隆 (北総支部)・泰 孝太郎・五木田 厚 (千葉支部)

辰野 方哉 (安房支部)・岡田 和明 (銚子支部)

欠席者

委員 船澤 聖一 (京葉支部)

東会長より

新年度、会長に再任ということになりました。宜しくお願い申し上げます。

6月11日に日本代協の総会が行なわれ、同日、政治連盟臨時代議員会が開催されました。政治連盟は日本代協と表裏一体となっており、我々の業界のモニタリングをしておりますので皆さんも意見があれば頂きたいと思います。

CSR 委員会ではSDGs宣言をします。その後、全会員代理店がSDGsを認定できる様にすすめていきます。

価値向上策、自己点検チェックシートについても各支部にて勉強を行なうなどして頂きたいです。

1. 自己紹介

新委員になられた方もいらっしゃるので委員、お一人ずつ自己紹介をして頂いた。

2. 企画環境委員会の役割について

大森委員長より

先日、6月23日に第2回日本代協企画環境委員会が開催された。その際の資料として企画環境委員会の役割を記述した資料があるので皆さんと読み合わせをしたい。

企画環境委員会とは

企画環境委員会は代理店経営の質を高めるための委員会です。業界は現在大きな転換期を向かえています。金融庁は顧客本位の業務運営やプロダクトガバナンスを

求めています。保険会社は代理店に対し、より高い品質管理や内部管理体制を求めています。お客様は保険商品だけでなく、安心や信頼を求めています。

このような環境変化の中で、代理店が将来にわたって選ばれ続けるためには、経営品質を向上させる必要があります。企画環境委員会はそのための情報提供や仕組みづくりを行なう委員会です。

なぜ企画環境委員会が必要なのか

これまでの代理店は保険を販売することが主な役割でした。しかし現在はお客様のリスクを発見し、解決策を提案することが求められています。つまり商品販売中心の代理店からリスクマネジメントを提供する代理店へ変化する必要があります。

企画環境委員会は、その変化を支援する役割を担っています。

新たな事にチャレンジする委員会です

企画環境委員会は顧客本位の業務運営を高いレベルで実践するために、品質向上に焦点を当て、新時代に合わせたアップデートを推進する委員会です。最も強い者が生き残るのではなく、最も変化に敏感なものが生き残るのであり、激変する業界環境の中で企画環境委員会は変化を生み出し、変化する会員を支援する役割があります。

リスクマネジメント（RM）について

企業経営者が抱える悩みは保険だけではありません。近年では、自然災害、サイバー攻撃、情報漏えい、労務問題、人材不足、事業継承など様々な経営リスクがあります。保険はリスク対策の一つでしかありません。まずリスクを把握し、その上で保険を活用する。これが本来のリスクマネジメントです。私達は会員代理店にRM知識を習得して頂き企業経営者から相談される代理店を目指したいと考えています。

東会長より

代理店独自の教育として活用してもらおうと良いと思います。

事業継続力強化計画

近年、自身や豪雨などの自然災害が頻発しています。また感染症やサイバー攻撃により企業活動が突然停止するリスクも高まっています。そのような状況に備えるために中小企業庁は事業継続力強化計画を推進しています。これは企業版の防災計画ともいえる制度です。事業継続力強化計画を提案することで代理店は保険販売業者から経営支援パートナーへと変わります。

社労士診断認証制度

社労士診断認証制度とは社会保険労務士が企業の労務管理、就業環境、法令遵守状況を診断し、基準を満たした企業を経営労務診断適合企業として認定する制度です。

保険会社や金融機関、顧客、取引先に対して、法令遵守や労務管理がしっかりしている会社だと示せますので信頼性、信用力の向上につながります。

JSA-S1003

JSA-S1003 は保険代理店を対象に開発した国内初の JSA 規格日本代協が策定した代理店の品質向上基準です。金融庁や保険会社から求められる事項を整理し代理店が自主的に確認出来る仕組みになっています。JSA-S1003 は代理店が顧客本位の業務運営を実践し、品質を高め、将来にわたり選ばれ続けるための経営の道しるべとしての指針です。

自己点検チェック

こちらに自己点検チェックと記載がありますが企画環境委員会ではひな形を作るわけではないです。昨年度は代理店がどのように回答したかなどのモニタリングにとどまっております委員会が今後どのように取組んでいくかは定まっています。

不公正募集

不公正募集に対するモニタリングと対応策の実施については最終的に消費者が保護され公平・公正な競争環境を構築するために日本代協と地域代協が役割を分担し、協力して対応することが重要です。地域代協は不公正募集等の情報収集を行い、各都道府県代協において現地対応をすると共に情報を所定の報告フォームを使ってブロックの企画環境委員を通して日本代協に報告を行なう。日本代協は報告を受けた情報を日本代協の企画環境委員会で共有して不公正募集のデータベース入力し日本損害保険協会に報告し、活力研で保険会社に共有することによって現場における実態を示し、改善に繋げていく。

東会長より

保険で綺麗になります等とうたう特定修理業者の報告もお願いしたい。

3. 新年度の活動について

大森委員長より

新年度については引き続きジギョケイのワークショップの展開をしていきたい。

昨年度は開催実施支部が3支部だったため取組みをさらに推進していきたい。ただ保険会社との連携によりワークショップを昨年度まですすめてきたが新年度は今まで通りいかどうか不透明であるため保険会社に確認をしたい。また保険会社主導ではなく代協が先頭に立って代協が中心のジギョケイセミナー開催であることが理想であることに違いは無いと考えているので皆様も承知をしておいて頂きたい。

また今年度は社労士診断認証制度を推進していきたい。社労士診断認証制度についての内容については資料を確認頂きたい。まずは各支部の会員の中に社労士が在籍しているかどうか次の委員会まで確認をしておいて頂きたい。在籍されてなければ会員が顧問契約をしている推薦できる社労士がいれば良いと思う。また会員、または推薦社労士がいない場合には社労士会に相談しようと考えている。まずは社労士が決まり、その後、支部ごとにセミナーを開催していくことを目標にして活動をすすめていく。

また、価値向上策取組報告フォーム、不公正募集等に関する報告書
を用意したので案件があれば私まで FAX を頂きたい。また日本代協の書庫にも
入っているので是非、活用頂き案件を出して頂きたい。
また、今回、議題として日本代協企画環境委員会報告とあるが皆さんへメール
が届いているはずなので内容は後程、確認して頂きたい。

4. 支部活動報告

辰野委員（安房支部）AD 社員にワークショップの説明をしてもらった。その時に
個別対応はするが参加者を集めての開催はしない方向と聞いた。

7 月 4 日にクリーンイベント行う。

秋山委員（北総支部）5 月 21 日に成田商工会議所でジギョケイワークショップ
を開催した。10 数人参加した。

五木田理事・秦委員（千葉支部）9 月 4 日に千葉商工会議所でジギョケイワークショ
ップを開催予定。会場は 60 名ほど入る。こちらは代協千葉支部として行
い、代理店向けワークショップとなる。今回、経済産業局からも来て頂く。

飯田委員（東葛支部）3 月 16 日 AD 社協力により BCP セミナーを行った。
5 月 22 日に役員会を行った。当社ではニュースレターを使った取組みを
行政書士としての取組みと併せてしている。また損 J 社は地域連携をした
数が重要と捉えている。

岡田委員（銚子支部）5 月 21 日にジギョケイワークショップを開催した。

7 月 14 日に役員会があり 2 名の方が入る。

飯高委員（茂原支部）7 月 17 日代理店賠償セミナーを行う。講師は東会長にお願い
した。

萱野委員（木更津支部）12 月 14 日に献血を行った。6 月 29 日に役員会を行う。

5. 不公正募集について

案件は今のところ無いようだが役員会の度に必ず、案件があるかどうか聞いて頂き
たい。

6. 次回開催日時

令和 8 年 9 月 16 日 Web 開催 16 時 00 分から 18 時まで

議事作成人 大森 滋